

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

- ・アメリカ人 20代半ば 女性
- ・にこやかな感じ

2. 通訳ガイド

- ・40代 女性
- ・入室時はほほえんでいたが、試験中は厳しい表情

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

- ・演歌は人気があるが、歴史はそれほど長くない。
- ・明治～戦前までは唱歌や軍歌が歌われていた。

《自分の解答》

演歌は日本の心を歌っていて、沢山の人に愛されている。

しかしその歴史は長くなくて、1961年から歌われるようになった。

⇒ここで何かを説明したが忘れしました。

明治～戦前までは、演歌が人気で・・・と言うとTGがえっという反応。
唱歌や軍歌が戦前まで歌われていた、と言っておわる。TGから安堵感がただよってきた。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 潮干狩り
- ② 回転寿司
- ③ 神道

《選択したトピック》

『神道』

《発表した内容》

神道は日本に昔からある土着の宗教で、開祖も教典もなく、自然を神として、たとえば富士山とか火とかに神がいると考え、祈りをささげます。

(NS.TG) ふむふむと聞いている。

神道の考え方は、日本人の心の底に根付いていて、日本人の考え方にも大きく影響していると思う。他にも何か言いましたが忘れしました。

途中で2分を過ぎたようで、TGがちらちらとタイマーを見はじめ、切れのよい所で、おわりと言われました。

5. 質疑応答について

NS	神社と寺の違いは？
I	鳥居の有無でわかる。
NS	仏教と神道の違いは何か。
I	仏教には仏陀がいる。
NS	なぜ日本人は神道と仏教の両方を受け入れられるのか。
I	日本人は神道を信仰していたけれど、仏教を受け入れる寛容さを持っていた。神道を宗教といちづけずに暮らしの一部にしていたから、仏像や教典のある仏教は受け入れられたのかと思います。(ここで痛恨のミスをしました) 仏教が室町時代に入ってきたと言ってしまい、TGが首をふりながら深いため息と、何かをメモしていました。私もいっぱいいっばいで、終わってすぐ、6世紀だと思いましたが手遅れでした。
NS	なぜ神道でお祝いごとをして、仏教でお葬式をするのですか。
I	最初に両方受け入れることができたので、それぞれ個人の希望で行っている神道でもお葬式もできるので、選ぶことができる。

6. 試験を終えての感想

総じて、TGが厳しい雰囲気、笑顔で応じるのが大変でした。通訳は、ちゃんと出来たつもりだったが今思い出しながらレポートを書いている、筋が通っていないことに気付いた。決定的に歴史的事実をまちがえて話をしてしまったので、終わった瞬間にまた来年の試験のことを考えてしまったため、試験内容をかなり忘れてしまった。

トピックの潮干狩りは全くノーマーク。回転寿司は魚の名前に自信がなくさげました。ギリギリまで悩んで、30秒経ってから神道に決めて、スタートした次第です。